平成２４年１２月１３日

委　員　各位

（独）日本学術振興会
情報科学用有機材料 142 委員会
委員長　小出　直之
Ｃ部会主査　安達　千波矢

# 情報科学用有機材料第１４２委員会
# 「有機光エレクトロニクス部会　第５３回研究会」開催通知
# －有機薄膜太陽電池の最前線－

近年、太陽電池をはじめとする自然エネルギーの有効活用が喫緊の課題として取り上げられ、国内外で精力的な研究開発が行われております。このような技術潮流の一環として、有機太陽電池がクリーンエネルギー源として注目を集め、高い光電変換効率等、興味深い特性が報告されております。今回の研究会では、「有機薄膜太陽電池の最前線」という観点から、当該研究分野で活躍しておられる第一線の研究者の方々をお招きしてトピックスを紹介していただきます。皆様ふるってご参加くださいますよう、御案内申し上げます。

１．日　時：　平成　25　年　2　月　28　日（木）　　13：00－17：00

２．場　所：　京都大学　宇治キャンパス　おうばくプラザ　セミナー室４，５
（〒611-0011　京都府宇治市五ヶ庄　電話：0774-38-4394）
（ＪＲ奈良線「黄檗」駅下車、徒歩約　5　分）

３．研究会プログラム：（敬称略）
「電子輸送層用酸化亜鉛ナノ構造体の表面修飾とポリマーハイブリッド太陽電池特性」
(13:00～13:45)
京都大学大学院エネルギー科学研究科
佐川尚

「大気中・塗布法により製作する逆型有機薄膜太陽電池の開発」 (13:45～14:30)
金沢大学理工研究域サステナブルエネルギー研究センター
〇高橋光信・桑原貴之

「有機薄膜太陽電池活性層への液晶性有機半導体の応用」 (14:30～15:15)
（独）産業技術総合研究所　関西センター
ユビキタスエネルギー研究部門　ナノ機能合成グループ
清水洋

( 休　　憩 )

「有機薄膜太陽電池モジュールの開発」(15:30～16:15)
株式会社東芝　研究開発センター
細矢雅弘

「有機薄膜太陽電池の耐久性向上に向けて」(16:15～17:00)
産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター
吉田郵司

（追記）：　準備の都合がありますので、出席のご都合を同封の回答用紙で２月１８日（月）までにお知らせ下さい。